

事務局長の思い出

元事務局長 中島一彰



私は、1984年に青木・呉・香取の同期3人組に押されて入会しました。入会を勧めていただきありがとうございます。お陰様ですばらしい経験をさせていただきました。1996年4月に玉塚先輩から佐藤雄二郎先輩への会長職のバトンタッチを受け、同年4月より2002年6月までの3期6年間事務局長を拝命していました。小田急の利光会長時、香取君の下で、組織委員会副委員長を4年、またその後、玉塚会長の時に委員長を2年経験しております。当時の運営委員会は日比谷松本楼の小部屋で昼食例会の前後に開催されていました。社会的にも大きな影響力を持っていた先輩ばかりで構成されており、私ごとき若輩はとても発言ができる雰囲気ではありません。ほんとに小さくなっていったのです。しかし、玉塚会長が、運営委員会の開催の直前に必ず、経済・政治問題などで雑談をなさり、その話がとても面白く、参考になったことを思い出します。

佐藤会長になり、事務局長が突然6年若返ったのですから当初は会員の皆様、特に先輩方は違和感をお持ちになったようです。始めの数ヶ月はかなり戸惑ったことを覚えています。玉塚前会長からは、「どうだい、先輩たちはうるさくないか?もしやりにくかったら自分に言ってくれよ」と度々電話を頂戴し本当に感激いたしました。また、紛糾した委員会のあとで辻端副会長や井上副会長が帰り際にそっと「お疲れ様」と声を掛けてくださったこと、また36年卒の応援団OB斉藤実直先輩も、「お前が事務局長をやっている間は絶対応援するからな」と言っていた大きき大変心強く思いました。すでに鬼籍に入られましたが、たった一日ゴルフ会で一緒しただけで済んだのに。ある年の賀詞交換会の時に後ろから突然ぱんと肩を叩かれました。振り返るとオークラの松井先輩がニコニコしていました。嬉しかったです。多くのアドバイスを下さった倉石先輩、少ない予算で、賀詞交換会や総会の開催を受けて頂いた松本楼の小坂先輩、益々盛んになっ

ているゴルフ会も当時は日東興行のオーナー社長でおられた松浦先輩には大変お世話になりました。ゴルフ会はすべて日東興行傘下のゴルフ場でした。土曜日にもかかわらず、数々の便宜をおはかりいただき、感謝いたしております。お陰様で自分では何もしませんでした。各委員長さんと若い委員が動き、懸案の財務体質の強化、会報・名簿の充実を達成し、また、会自体の運営も組織的に動けるように、会報、研修、活性化などの新委員会ができました。事務局はあくまでも裏方ですから、20周年記念事業も大前先輩のご協力もいただき、神谷健次実行委員長の下で大成功を収めました。私はと言うと、暇があれば、名簿とにらめっこ、会員の方々から仕事関係のことで照会・紹介の要請やご相談があった時に、適切な対応ができるように準備をしていました。多くの先輩方も鬼籍に入られましたが、本年はマイクロソフトのビル・ゲイツ会長を立教大学に招聘した佐藤雄二郎元会長を失いました。佐藤会長は私にとって、上司であり、また何回もハワイやグアム旅行をご一緒した遊び友達でもありました。自分を叱って頂く唯一の方でもありましたし、事実良く叱られました。私にとって大変悲しい出来事でした。

紙面の関係でお世話になった全ての先輩のお名前を出せないのが大変残念ですが、超お元気なご長老方、長谷川、渡辺、寛、出光、松崎、山元、の諸先輩はいつも会に出て来ていただきました。素敵な、やさしい、モダンで垢抜けた、スマートな、そして立教を愛する多くの先輩方があって今の立教経済人クラブがあることを忘れないようにしたいと思います。

ここで後輩の皆様、特に私の後任になった梅田前事務局長、中島弘人現事務局長、更に当時の事務局員の三輪さん(今はなぜか出世してレディスクラブの副会長)、事務局長時代運営委員会やその他の席で叱ったり、議論をしたりまた感情をあらわにいたしました。全て経済人クラブを良くしようとの思いから出ております。どうぞご容赦ください。まだまだ書きつくせない多くの歴史がありますが次の機会(もしあれば)に譲りたいと思います。

最後になりましたが、現和田会長、超多忙な社業にもかかわらず会長職を引き受けてくださり、また運営委員会の皆様・30周年式典実行委員会の皆様、いつも大変ご苦勞様です。皆様の活躍によって経済人クラブが支えられています。一文の特にもならないのに、本当にありがとうございます。更に、この度、私に先輩・同輩・後輩の皆様は御礼とお詫びを申し上げます。後輩の皆様のご健勝を心から祈念いたしまして筆を置かせていただきます。30周年おめでとうございます。

上原ネームプレート工業株式会社

昭和19年の創業以来、金属のみならず、プラスチックその他の素材への表面処理技術を駆使した意匠部品の総合一貫メーカーとして各社製品の「顔」であるマークを作っています。60年にわたって培われたエッチングを基本とした加飾法によるネームプレート技術をぜひご覧下さい。本日は当社製旭山動物園ピンバッチを特別に販売させていただきます。

<http://www.unp.co.jp>

愛は食卓にある。キューピー

本日の展示は、私達の「食を通じて人生を豊かに」過ごしていただきたいの想いから、おいしさやわらかさにこだわり9月にリニューアルいたしました「やさしい献立」シリーズと、糖尿病食、腎臓病食。自社原料であるヒアルロン酸、卵黄レシチン、コンドロイチン硫酸等を用いたサプリメントをご用意いたしました。お気軽にお立ち寄り下さい。通販の案内もご用意しております。

<http://www.kewpie.co.jp>

山口国際税務会計

経済活動のグローバル化にとまない、米国(ハワイ州)にても、会計・税務・不動産を中心に、弁護士、公認会計士、社会保険労務士など専門分野のプロフェッショナルを擁する国際総合コンサルティンググループとして、皆様の多様なニーズに対応しております。今回は、皆様にロバート・モンダヴィの美味しいワインを特別価格でご紹介したいと思います。

<http://www.yitusa.com>

若山工業株式会社

省エネルギーと経済性を両立する次世代照明「E-COOL」液晶モニタ他に使われてきたCFL(冷陰極蛍光灯)を直管型蛍光灯として開発、低消費電力、長寿命、高輝度、目に優しいなどの優れた特長を持ち、大きな省エネ効果が見込めます。身近なエコは、効率的なエコ。「E-COOL」で地球に優しい照明環境を実現しましょう。代表取締役 若山晶 〒158-0081 東京都世田谷区深沢6-33-21 電話 03-3702-1191 FAX 03-3704-0636 E-mail wakayama@avallon21.net

<http://www.wakayama-kogyo.com>

Frutta da Tavola

朝の始まりは、新鮮なフルーツから! 何気なく置かれたテーブル上のフルーツは彩りのインテリア!季節を感じながら、旬を味わうのは、日常の中の贅沢気分。ご近所では売っていない、本当に美味しい、限定品をわがままにお取り寄せいただけます。今、一番お勧めのみかんをご用意いたしましたので、ぜひお試しください。

<http://ottima-vita.com>



パティスリークリエーション
GATEAU FESTA HARADA
〒370-1301 群馬県高崎市新町1207
Tel.0274-40-3330 FAX.0274-42-0137

自社工場で製造したフランスパンは、「小麦の味を賞味するもの」といわれるほど芳ばしい香りの美味しさです。そのフランスパンで作ったガトーラスク「クレーテ・デ・ロワ」。フランス語で「王様のおやつ」を意味する商品名通り、フランスの食文化を感じさせる贅沢で奥深いおいしさを、ぜひご賞味ください。

<http://www.gateaufesta-harada.com>

株式会社毎日コムネット

創業以来、当社は首都圏大学生の関連需要に市場を絞り込んで成長を続けてきました。合宿研修・スポーツ大会運営を中心とする旅行事業、学生専用マンションの開発、賃貸管理を行う不動産事業、そして最近ではクラブ・サークル幹部学生を企業とマッチングする新卒採用事業へと展開。上場会社の中でも「大学生のごとくなら毎日コムネット」と言われるポジションを目指しています。

<http://www.maicom.co.jp>

ホッピー ホッピービバレッジ株式会社

明治43年秀水舎として創業。東京・赤坂で「天然ものへのこだわり」を理念にラムネなど清涼飲料水を製造。昭和23年7月、選り抜かれた麦芽とホップを醸造発酵させたホッピーの製造販売を開始。以来、焼酎割り飲料のバイオニアとして関東を中心に親しまれております。創業100年を迎え、これからも最優先に創業の想いを大切にしながら、お客様に愛し続けていただくモノづくりであり続けます。

<http://www.hoppy-happy.com>

Rikkyo Club of Executives & Professionals

立教経済人クラブ30周年

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

ごあいさつ

立教経済人クラブ会長 和田成史



立教経済人クラブは本年をもちまして30周年を迎えることができました。佐藤雄二郎元会長はじめ、歴代の各会長様、また多くの先輩方、会員の皆様を支えられて、30年という年輪を刻んでこられたことに、心より感謝申し上げます。

当クラブは、会員相互の啓発・協力・親睦を図り、母校の発展に寄与すると共に、産業経済の発展に寄与することを目的として1981年に設立され、高い専門性や経験、幅広い人脈を持った枢要な組織として、各方面で活動を続けてまいりました。

大学も一昨年135周年を迎え、様々なイベント並びに学院基金を通じて、大学の学問と教育の教学の精神をさらに拡充するとともに、ハード面・ソフト面の両面から新たな将来に向けてスタート致しました。

これからも当クラブは、全員参加型の自主的な運営により、研修会や親睦会その他スポーツイベントなどを通じて、世代を超えたコミュニケーションを豊かにし、活きた情報交換、人脈ネットワークづくり等、会員が相互に協力し助けあい成長していくことができる組織を目指してまいります。また、立教の良さを当クラブの中にどうかもしだし作り上げていくか、これをぜひ大切にしていきたいと考えております。

このたび30周年という節目の年を迎えるにあたりまして、11月9日に30周年式典を開催いたします。若い経営者の方々が、これからの日本をどう築いていくのか、ビジネスチャンスはどういったところにあるのか、立教のビジネススタイルをどう活かしていけるのか。

これからの将来に向けて、業種・世代を超えた活発で有益なディスカッションの場となることを期待しております。ぜひ身近な方々をお誘いあわせの上、皆様方の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

最後になりますが、立教大学のこれからのますますの発展と、会員メンバーの皆様方のビジネス事業のご発展・ご健勝を祈念いたしまして、立教経済人クラブ創立30周年にあたっての挨拶とさせていただきます。



立教経済人クラブ30周年を祝して

立教学院理事長 糸魚川 順



設立30周年を迎え、新たな歩みを始められた立教経済人クラブの皆様へ、心からお祝い申し上げます。設立の趣旨を踏まえ、国内外のネットワークの構築、立教経済人の存在感を高めてこられた偉業は、誠に素晴らしい事だと思います。昨今の経済環境下では、特に同窓によるクラブは会員相互にとって、ことのほか貴重な役割を果たしております。玉石混交の情報過多の社会において、経済人は常に正確な判断、もしくは状況に即応した頭の切り替えも必要になりますが、立教経済人クラブ内での交流は得難い存在であり、今後とも是非この雰囲気を維持し、その価値を高めていただきたいと存じます。また、30周年を機に、会員増強の為、皆様と一緒に知恵を出したいと思っております。

立教経済人クラブ30周年を祝して

立教大学総長 吉岡知哉



立教大学経済人クラブが創立30周年を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。30年前は5学部5研究科で構成されていた立教大学は、現在では10学部14研究科、総学生数2万人を擁する大学に成長いたしました。施設の充実も進み、池袋では現在、新しい中央図書館を含む複合棟の建設が進んでいます。高等教育研究機関としての立教大学は、着実な歩みを続けています。しかし昨今の経済情勢の悪化を受けて、学生を取り巻く状況は厳しさを増しています。学生たちが充実した大学生活を通じて知恵と力と勇気を養い、これからの人生を歩んでいくための「自信と誇り」を身につけるよう、私たちは一人ひとりの可能性を伸ばす質の高い教育をさらに追求していきます。学生たちにとっては、第一線で活躍する先輩たちの姿が何よりの励みになります。立教大学経済人クラブに集うみなさまのご支援を心からお願いいたします。

立教経済人クラブ30周年を祝して

立教大学校友会会長 江草忠敬



多くの先人方のご努力と会員皆様のご協力によって立教経済人クラブが創立30周年を迎えられましたこと立教大学校友会を代表し心より喜び申し上げます。国内外の経済各界でご活躍されておられる会員をもって構成されている立教大学経済人クラブの日頃の活動は当校友会といたしまして大変心強いクラブであります。毎年25前後の地域、地区の校友会を訪問し地場産業に関与される方を始め、多くの地域経済発展にご活躍されておられるOB・OGの方々とお会いします。最近の各地校友会開催事業として目立つ活動として、校友間の親睦に止まらず各地域の発展に寄与すべく地元の方々も参加できるシンポジウム等の開催が大學関係者のご協力を頂き開かれております。また、同一経済地区に所属する校友会会員が県内という枠を乗り越え横断的な協力関係の構築を目指す動きを呼びかけているケースも話題となっております。未来を担う後輩は、立教経済人クラブ会員の後姿をみながら自分たちの将来構想を描いていると思います。経済人クラブの発展は在学生にとって大きな糧(鏡)といえます。そのためにも和田会長のリーダーシップの下、さらなる活発な活動の継続を期待いたしております。

立教ECONOMIST

RIKKYO ALUMNI BUSINESS ADMINISTRATORS CLUB

立教経済人クラブのこれからの役割

活動期には立教経済人クラブ
立教経済人クラブもいよいよ6年目に突入り、メンバーも充実してきて頼もしいクラブに育ってきたと思います。

いままでは組織づくりの期間だったけれども、ここでもっとも充実してきて頼もしいクラブに育ってきたと思います。

立教経済人クラブの会報ができるという事は、会員間の親睦を意味するだけでなく、結果を促す意味でも非常に重要な役割を果たしていると思います。それによって、活動が活性化されていくと思っております。

立教経済人クラブの会報が出来るという事は、会員間の親睦を意味するだけでなく、結果を促す意味でも非常に重要な役割を果たしていると思います。それによって、活動が活性化されていくと思っております。



立教経済人クラブ会長 利光 達三(19年経済) 小田急電鉄(株)取締役社長

立教経済人クラブが、業界部会の活動を支えることは大変重要な役割を担っています。会員間の親睦を促すだけでなく、結果を促す意味でも非常に重要な役割を果たしていると思います。それによって、活動が活性化されていくと思っております。

立教経済人クラブの会報が出来るという事は、会員間の親睦を意味するだけでなく、結果を促す意味でも非常に重要な役割を果たしていると思います。それによって、活動が活性化されていくと思っております。

業界界のなかでも相当の力と存在しています。いい卒業生を業界に入れるためにOBがバックアップをしてくれるという思いが、それによって、活動が活性化されていくと思っております。

立教経済人クラブの会報が出来るという事は、会員間の親睦を意味するだけでなく、結果を促す意味でも非常に重要な役割を果たしていると思います。それによって、活動が活性化されていくと思っております。



経済人クラブ10周年の思い出
最高顧問 玉塚和男

立教経済人クラブ創立30周年を迎え、誠に意義深い記念すべき年にあたり、会員の一人として心よりのお祝いとお慶びを申し上げます。

立教大学の創立は、西暦1874年チャニングムア・ウィリアムズ主教により、キリスト教に基づく教育すなわち愛の魂、正義の心、自由の学術を基本に、そして立教のユリの花のマークに象徴されております三つの花びらを東根、知育徳育そして体育と人間形成の基本を学んだと思っております。

立教経済人クラブも昭和56年6月の誕生であり、誕生までの1年間、生みの親として大変に御苦労されました。昭和14年ご卒業の田村清先輩を中心に、30名程度の会員でスタートをしたのであります。初代会長は、昭和18年ご卒業の久保虎二郎先輩、第二代会長は昭和19年ご卒業の利光達三先輩で、昭和58年6月にご就任されました。

第三代会長は昭和26年ご卒業の私が、昭和62年6月より平成8年4月迄、会長を仰せつかりました。その間、平成2年創立10周年を迎え、記念事業として佐藤雄二副会長に実行委員



立教ECONOMIST

RIKKYO ALUMNI BUSINESS ADMINISTRATORS CLUB

立教経済人クラブ創立10周年記念事業

10月26日(土) 経団連会館

経団連会館にて、立教経済人クラブ創立10周年記念事業が盛大に開催されました。当日は、各界の代表者やOB、OGが一堂に集まり、記念式典や懇話会が行われました。

立教経済人クラブの活動が、卒業生と社会をつなぐ重要な役割を果たしていることが、この記念事業を通じて改めて確認されました。

立教経済人クラブの活動が、卒業生と社会をつなぐ重要な役割を果たしていることが、この記念事業を通じて改めて確認されました。

パネルディスカッション〈21世紀に向けて〉

- パネリスト
 - 本澤 良久 (Ryoko Honze) 氏 昭和5年東京生まれ、29年立教大学文学部卒業。30年平凡出版に入社。『週刊平凡』『平凡パンチ』『アンソング』『ボイ』『アウタス』編集長兼責任者の後、55年取締役就任。『オリーブ』編集長兼責任者の後、63年代表取締役社長に就任。
 - 田名部匡省 (Tsunobu Masayoshi) 氏 昭和9年青森生まれ、32年立教大学経済学部卒業。体育会スケータースポーツ部に所属。世界選手権、冬季五輪大会で大活躍。49年以降は監督として活躍。青森県選出2期後、54年より山形県選出。現在5期目。自由民主党選出運動部長。スポーツ振興に関する特別委員会委員長として活躍中。
 - 長島 茂雄 (Shigemasa Shigeo) 氏 昭和10年千葉生まれ、33年立教大学経済学部卒業。在学中は体育会硬式野球部に所属。立教大学野球部黄金時代の立役者として活躍。同年代立教大に入団、名選手名打者として名声を博し、日本を代表するプロ野球選手として野茂英雄入りを果たす。古田茂賢、サントリー一宮賞受賞。
 - 北岡 伸一 (Nozomu Kitano) 氏 昭和46年東京生まれ、51年立教大学経済学部卒業。立教大学法学部教授。『日本経済』中会新書など著書多数。出版会『清沢潤』中会新書など著書多数。古田茂賢、サントリー一宮賞受賞。
 - 神坂 忍 (Shinbata Nin) 氏 昭和33年立教大学経済学部卒業。日本教育テレビ(現テレビ朝日)アナウンサー。40年フリー。現職のあまのりの中で、軽妙で高深な表現力が主眼眼に絶大な信頼を得ている。東原アキ子との結婚を機に『亭主白』725年刊を出版。講演、セミナー、エッセーと幅広く活躍している。
- コーディネーター
 - 佐藤雄二 (Yuji Satoh) 氏 昭和19年立教大学経済学部卒業。立教経済人クラブ初代会長。現在、立教経済人クラブ会長として活躍中。

会長在任時の心境と期待
最高顧問 坪野谷雅之

会員の皆さま、立教経済人クラブの創立30周年誠にありがとうございます。私は、中興の祖である第3代会長故佐藤雄二副会長の推薦で、2001年から2005年の4年間、第4代会長を務めさせていただきました。就任の挨拶で「演じることは、恥が半分、栄光が半分」という言葉を肝に銘じ、ご期待に添えますよう誠心誠意頑張る所存です」と、正直な心境を吐露しました。

この間、組織の強化策として、校友の経営者及び管理者が比較的自由に出入り出来るように制度を改める一方、事業の基礎固めとして、全会員が「行事に参加することは楽しく役に立つ」をモットーに、役員はじめ専門委員の方々には、ボランティア精神で創意工夫を凝らしていただき、感謝に堪えません。

そして、会長を辞任するに際しては、当会の特色を一層際立たせるために、気鋭な若手会員を積極的に勧誘、また、全世界で活躍している校友にも働きかけること、更には、相対的に多い中堅・中小企業の経営者を縦糸に、大手企業の経営者を横糸に組織の拡充を図ることを期待し、現会長の和田成史さんにバトンタッチをすることができました。

和田さんは、日本を代表する経営者であり、人格識見ともに優れ、人脈も広く、特に若手会員から絶大な信頼と尊敬の念を持って迎えられており、このクラブを40周年・50周年とリードしていただけるものと確信しております。



立教ECONOMIST

RIKKYO ALUMNI BUSINESS ADMINISTRATORS CLUB

立教経済人クラブ創立20周年記念イベント開催

日時:平成12年11月7日PM6:00~

20世紀も終わりに近づき、最近では多少景気回復が見られるようになってきたが、状況は依然として厳しい。立教経済人クラブの創立20周年を迎え、去る11月7日、ホテルオークラの中で創立20周年記念式典が開催された。

第1部の基調講演は、経済戦略会議議長をされたアセビル名誉会長の樋口廣太郎氏を迎え、「21世紀日本経済再生に向けて」と題して行われた。セントポールニュースにも紹介記事が掲載されたので、会員以外の方にも、講演会が始まった6時の祝賀会という声があがる程の盛況であった。

20世紀も終わりに近づき、最近では多少景気回復が見られるようになってきたが、状況は依然として厳しい。立教経済人クラブの創立20周年を迎え、去る11月7日、ホテルオークラの中で創立20周年記念式典が開催された。

- 10周年記念行事開催要項
 - 日時:10月26日(土) 17:00~20:30
 - 場所:経団連会館
 - 会費:15,000円
 - 受付開始:17:00
 - 開会:17:30
 - 18:45 懇話会 (10F ROOM No.1002)
 - 20:30 閉会
- 抽選会
 - 1.ノートパソコンと周辺機器一式
 - 2.ティアックオーディオセット
 - 3.鬼怒川金谷観光ホテル宿泊券
 - 4.ホテルオークラペア宿泊券×2
 - 5.商品券50,000円×2
 - 6.リトグラフ
 - 7.十文字ホール音楽会チケット2名×2

20周年記念式典に寄せて
ご来賓、会員、ゲスト399名の参加を得て、記念式典は大成功でした。個人的にも参加者の皆様には、何れもご案内をお送りしご迷惑をお掛け致しましたが、180名のメンバーの方がお集まり下さったことは今までなかった事でした。この大盛況が皆様のご協力のおかげで見事運された。

事務局長中島一彰



久保虎二郎

